

## 第2回 岩倉東小学校便教会 活動報告

日 時：2018年3月10日（土）9時～12時

場 所：岩倉東小学校 南館2階男子トイレ

参加者：12名（岩倉東小職員8名）

昨年に引き続き、岩倉東小学校にてトイレ掃除を行いました。岩倉東小からは三浦校長先生はじめ8名の先生方が参加。2度目の先生、初参加の先生もそれぞれの便器に向き合い、熱心に汚れを落としました。古い校舎で、汚れも溜まっていたのですが、掃除を進めるうちにどんどん綺麗になっていきました。その変化に思わず声を上げる先生方の姿。嬉しくなりました。美しいものや場所、美しくする行為は、大きな感動を呼び起こします。素敵な時間と場所を共有できたことに感謝です。



皆さんの掃除後の感想（要約）です。

- 手洗い場のタイルを掃除する際、二つの道具を使いました。同じように見える汚れでも、二つの道具それぞれで取れる汚れが違いました。汚れに合わせて道具を変えることが大事だと気付きました。教育も相手に合わせて方法を工夫することが大事だと考えました。
- 汚いトイレと言って失礼に感じられたかも知れませんが、トイレ掃除を続けていると、汚いトイレに出会えた時の方が嬉しく感じます。掃除をして変化が分かりやすいからです。汚ければ汚いほどきれいにしたときの達成感があります。隣の女子トイレで道具を洗っていましたが、男子トイレから先生方の感動の声が聞こえました。また、トイレのスリッパの位置を決めるのに、普段の子どもの生活を想像しながら考えている様子を見て、大変嬉しく思いました。
- トイレが綺麗になって嬉しかったです。タイルを綺麗にすると、トイレ全体が明るくなることを知りました。
- 今週は忙しく、今日トイレ掃除をやることを予定していましたが、朝になって、もう少し眠っていたいと思っていました。しかし、がんばって起きて、トイレ掃除をして綺麗になると、スポーツをやった後のようにすっきりした気分でした。来て良かったと思いました。
- 最初は取れないと思っていた汚れが、いろんな道具できれいになることが嬉しかったです。大工やお好み焼き屋が使うような道具を使って掃除をすることも楽しかったです。
- 去年に続いて2回目の参加でしたが、トイレ掃除はやるとすぐに結果が出て来るものなので、すごくやりがいがあり3時間があっという間でした。子供が見てパッと分かるように、目に見えるところを掃除しました。休み明けが楽しみ。
- 他の先生が掃除した便器と比べて、自分はまだまだだと思いました。一番汚い所からきれいになると、そこから少しずつ変わってくるということを知りました。子供達に対する教育も、勉強や生活態度を考えさせるには、スモールステップで行うことが大事だと思いました。
- はじめは「やってやるぞ」という気持ちで参加しましたが、今は「やってやったぞ」と達成感です。他の先生方の雰囲気も「やってやったぞ」という空気であふれています。校長先生が自分の心を見つめ直す機会と言っていましたが、晴れやかな気分です。子供が登校する月曜日が楽しみです。
- 尿濾し洗いを担当しましたが中々汚れが落ちませんでした。子供の指導でも、指導により劇的に変化することを期待してしまいましたが、登校する200日、毎日の積み上げが大切だと思います。
- 道徳の教科化が言われていますが、我々大人も社会で道徳の授業を受けているようなものです。周りに落ちているゴミを拾う、他の人に親切にするなどです。大人が、地域や社会の空気を作ることが大事。終生、日常生活の中で良いことをして、深化していくことが大事。
- 自分は匂いに敏感な方。最初マスクをしていても匂いがきつかったです。しかし最後、いつの間にかマスクを外していました。子供に対して、口だけで「掃除をしろよ」と言っていましたが、今回本気でトイレ掃除に取り組んだので、経験したことを上手に伝えたいと思います。今日勉強したことを、子ども達の日常の掃除にも生かしたいと思います。
- 先生方にトイレ掃除をやることを誘いましたが、楽しそうな声が上がっているのや、素晴らしい感想をたくさん聞き、誘って良かったと思えました。高野先生が磨いた便器を見て、新品のようでした。20年間トイレ掃除をやり続け、常に新しい方法を考えているからだと感動しました。床のタイル磨きについても、常に追求する姿勢に驚きました。

皆さんの感想、そして掃除後の爽やかな笑顔に心満たされました。ありがとうございます。また次回、岩倉東小学校で先生方と掃除ができますことを楽しみにしております。 小山晃範 拝